

ポリオ根絶の活動にあなたの力を!

2015~21 エンド ポリオ ナウ コーディネーター 国際ロータリー2690地区ガバナー (2014-15) 松本祐二 (益田西RC)





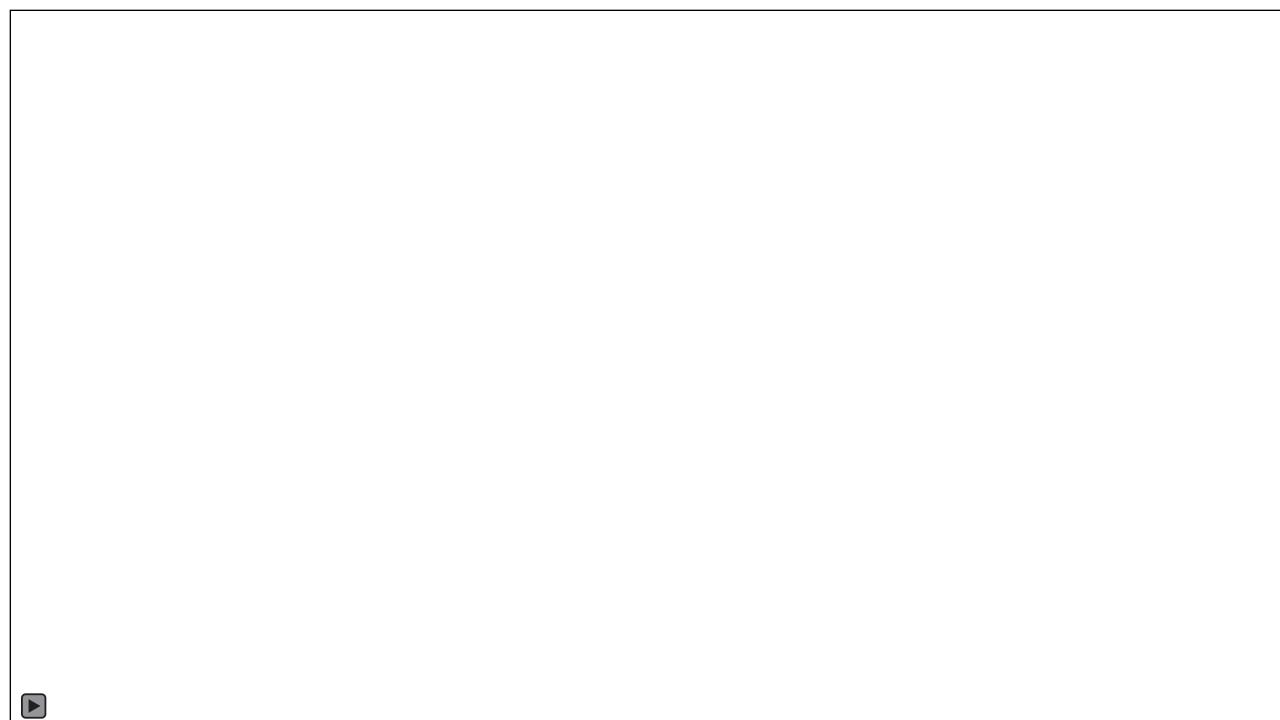




ロータリー章典(2022年10月)

40.040.01. 新しいRIプロジェクトポリオプラスプログラムが成功裏に終了するまで、いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない(2017年1月理事会会合、決定87号)。









国際ロータリーが取り組んでいる ポリオとはどんな病気ですか?

かつては「小児まひ」(医学用語では急性灰白髄炎) 病原体のポリオウイルスが脊髄の灰白質に入り込み 神経細胞を傷害して筋肉を麻痺させてしまう病気 筋肉が萎縮して手足が細くなる 呼吸に関与した神経細胞が侵され呼吸不能となり死亡 ワクチンが普及するまでは年間35万人余りがり患 治療法はなく、予防接種が唯一の対応策

ポリオウイルスは人体でしか増殖できないのでワクチン投与を確実に続けると根絶可能!





ポリオ「撲滅」からポリオ「根絶」へ用語の変更



彼女は次のような言葉とともに乾杯し ました。「地雷原がフルーツ畑に変わ た果樹園を視察し、帰りは収穫された 果物と一緒に貨物機で母国に戻りまし

ポリオ「撲滅」からポリオ「根絶」に変わります

RI理事 三木 明

国際ロータリーは1988年に、世界保健機関(WHO)、UNICEF (国連児童基金)と米国疾病対策センター(CDC)などと共に世界ポリ オ撲滅推進活動(GPEI、Global Polio Eradication Initiative)を組織 し、その後、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が加わりました。ロータリーは、 30年以上にわたって地球上からポリオをなくす活動を継続しています。

1988 年当時の Eradication という英語に対応する日本語は、撲滅という言葉でしたが、現在、GPEIを構成する組織では「根絶」を使っています。時代の変化に合わせて、今後はロータリーでも「撲滅」という言葉から「根絶」に変えて、ポリオ根絶に向けて一層の活動を展開しましょう(英語は Eradication のままで変更はありません)。

統計

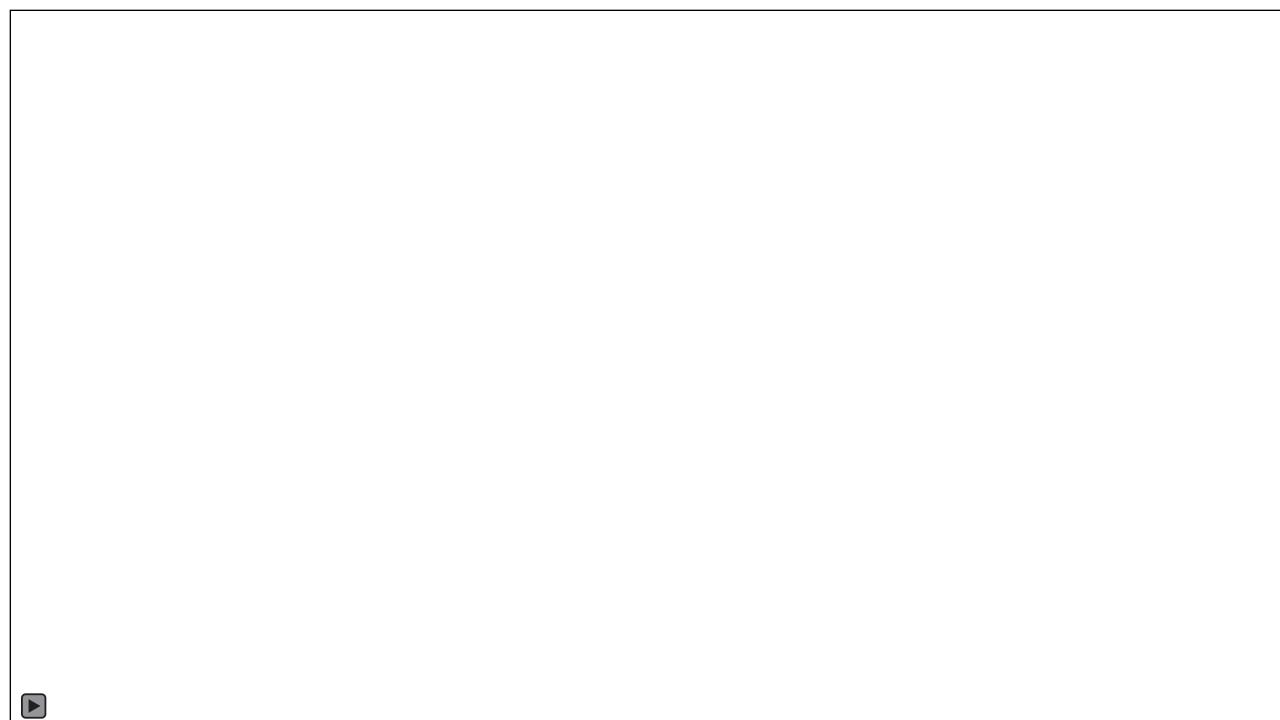
全世界ロータリアン総 1,228,117 人 クラブ数 36,005 クラ 地区数 525 地区 国と地域 200 以上 ローターアクト会員委 クラブ数 10,038 クラ 国と地域 160 以上 インターアクト会員委 クラブ数 24,142 クラ 国と地域 150 以上

201



2018年7月号 ロータリーの友







Global Wild Poliovirus 2017 - 2023

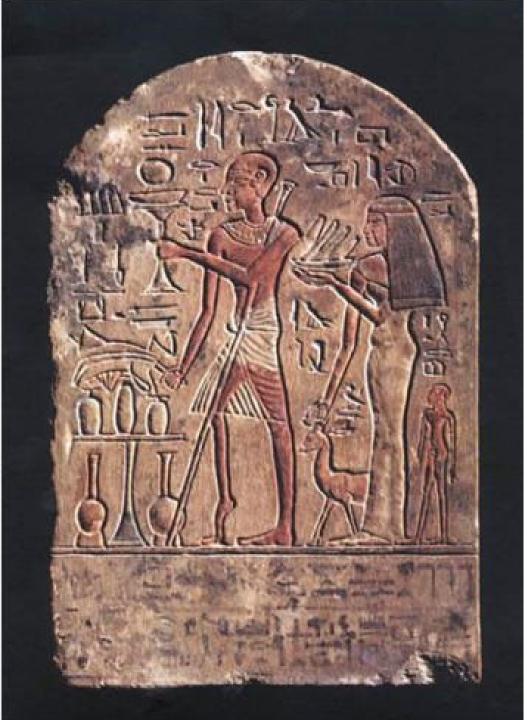


	Wild virus type 1 confirmed cases									Wild virus type 1 reported from other sources ²							
Country or territory	Full year total						01 Jan-11 Apr ¹		Date of most	Full year total				01 Jan- 11 Apr ¹	Apr ¹ Date of most		
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2022	2023	recent case	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	recent virus
Afghanistan	14	21	29	56	4	2	1	0	29-Aug-22	42	83	60	49	1	22	15	20-Mar-23
Pakistan	8	12	147	84	1	20	0	1	20-Feb-23	110	141	405	455	65	41	3	21-Feb-23
Mozambique	0	0	0	0	0	8	0	0	10-Aug-22								
Malawi	0	0	0	0	1	0	0	0	19-Nov-21								
Iran	0	0	0	0	0	0	0	0	NA			3					20-May-19
Total (Type 1)	22	33	176	140	6	30	1	1		152	224	468	504	66	63	18	
Tot. in endemic countries	22	33	176	140	5	22	1	1									
Tot. in non-end countries	0	0	0	0	1	8	0	0									
No. of countries (infected)	2	2	2	2	3	3	1	1									
No. of countries (endemic)	2	3	3	3	2	2	2	2									
Total Female	7	18	72	59	2	10	1	0									
Total Male	15	15	104	81	4	20	0	1									

Countries in yellow are endemic. ¹Data reported to WHO HQ on 12 Apr. for 2022 data and 11 Apr. for 2023 data.

²Wild viruses from environmental samples, selected contacts, healthy children and other sources. Last WPV type 3 had its onset on 10 November 2012.





ポリオ(急性灰白髄炎)の歴史①

紀元前1500年:エジプト第18王朝のころの僧ルーマはその右脚が完全に麻痺し、 高度に萎縮した様子の描かれた石碑と碑文

1905年:スウェーデンの内科医オットー・イヴァー・ヴィックマンが、ポリオは人から人に感染する病気であり、症状のない人もポリオにかかっている可能性があることを指摘。

1908年: ウィーンの2人の医師、カール・ラントシュタイナーとアーウィン・ポッパーが、ポリオがウイルス感染による病気であることを発表。





ポリオ(急性灰白髄炎)の歴史②

1916年:ニューヨーク市でポリオの大流行が 発生し2,000以上が死亡、全米では約6,000人 が命を落とした

1929年:ポリオによるまひで呼吸不全となった患者のために「鉄の肺」と呼ばれる人工呼吸器を発明。

1955年:ジョナス・ソーク博士が開発した ワクチンが「安全で効果的である」と宣言 1960年:アルバート・セービン博士が開発し た経口ポリオワクチンが米国政府から認可



ポリオ(急性灰白髄炎)の歴史③

米国で不活化ワクチンとは別に生ワクチンも開発 されましたが、当初は不活化で解決できると考えられ、 生ワクは注目されなかったが、 不活化ワクチンでは流行が終息しなかった。 生ワクの開発者のセービンは、大流行のあった 当時のソ連に技術を公開して、東欧で接種が開始された。 その驚異的な効果が日本にも伝わり、冷戦時代でソ連との 国交が無かったが、大流行で全国的なワクチンを求める 運動が強くなり、当時の古井喜實厚生大臣は安全性の 確認も取れないまま政治判断をし、 ソ連とカナダから1961年7月に緊急輸入。 7月12日から投与開始、8月からは都内の発生なし!

ソ連:ソビエト連邦(1988~91年崩壊)のこと 現在のロシアが中核の国でウクライナを含んでいた



1990年 日<u>ソ</u>共同制作映画 「未来への伝言」



国際ロータリーのポリオ根絶活動の軌跡(1)

ロータリー財団からの最初の補助金は1930年 国際障碍児協会に授与(500米ドル)されました。 国際ロータリーの創立75周年の記念活動について構想中に

1979年の国際児童年⇒幼児疾患⇒ポリオ根絶!

世界保健機関(WHO)は根絶できると考えていなかった! 民間の社会奉仕団体がイニシアチブをとって 根絶活動が始まった

当初はポリオに加えて麻疹やマラリア対策も含んでいたので ポリオプラスプログラムと呼ばれた



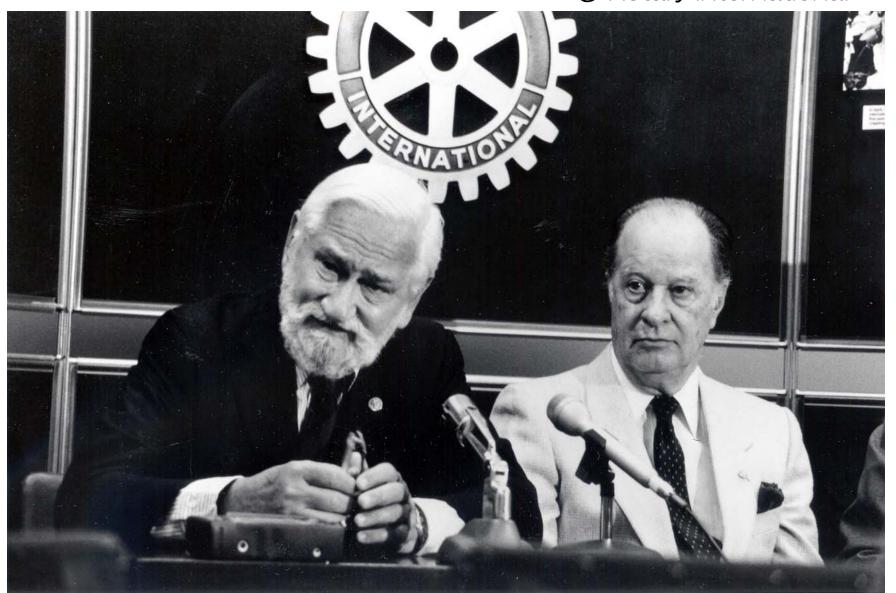


1885年ポリオプラス・プログラムの発表

アルバート・セービン博士とカルロス・カンセコ会長



© Rotary International









国際ロータリーのポリオ根絶活動の軌跡(2)

1979年:ロータリーがフィリピンで600万人の子どもへのポリ

オ予防接種プロジェクトを開始(1980年日本での最後の野生株感染)

1985年:国際ロータリーがポリオプラスを立ち上げ、

1億2000万米ドルの募金目標を設定

1988年:ロータリーの会員がポリオプラスへの

2億4700万米ドルの募金に成功(当初の目標の2倍以上) ポリオの根絶に関する決議を世界保健総会が採択(世界保健

機関(WHO)、ユニセフ(UNICEF)、米国疾病対策

センター(CDC)、国際ロータリー(RI)が中心となっ

て「世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)」を発足



GPEIの組織の変遷





1988年:**国際ロータリー 世界保健機関**(WHO)

国連児童基金(ユニセフ・UNICEF)

米国疾病対策センター(CDC)

2009年:ビル&メリンダ・ゲイツ財団

2019年: **Gavi**



















GPEIとパートナーの役割①

- 世界保健機関:戦略担当(GPEIの実施と管理を担当し、各国の保健省にサポート活動成果のモニタリング、戦略の立案)
- **米国疾病対策センター:ウイルス対策**(感染症の専門家集団: ポリオ流行に関する調査、ウイルスの種類と感染源の特定)
- **ユニセフ:予防接種**(ポリオワクチンの購入と分配のほか、社会動員活動、認識向上。現地保健従事者やボランティアと予防接種)
- **ロータリー:アドボカシー活動**(ポリオ根絶のための認識向上、募金活動、各国政府への働きかけ。これまでに100万人以上の会員がボランティア活動や募金を支援)





GPEIのパートナーの役割②

- ビル&メリンダ・ゲイツ財団: GPEIの強力なパートナーとして、 民間団体としては最高額の19億ドルを提供(2009年から参加)
- GAVI: 2019年から参加した国際的な予防接種推進団体
- **各国政府:**ポリオ撲滅活動の大部分は、各国政府からの資金援助、ポリオ常在国や高リスク国では、現地政府の支援が不可欠
- 各地の保健従事者:保健従事者たちは、情勢不安な地域で活動、 ワクチン投与活動が反政府組織のテロの対象。パキスタンでは 戸別訪問を行い、女性の保健従事者が母親たちに予防接種について説明しています。予防接種への不安をなくし、遠隔地域へ ワクチンを届ける活動も行っています。





国際ロータリーのポリオ根絶活動の軌跡(3)

1994年:西半球のポリオ根絶を宣言

1996年:報告されたポリオの症例数が

1988年より85%減少

2000年:オーストラリアから中国まで広がる

西太平洋地域のポリオ根絶を宣言

2003年:12カ月間のキャンペーンでロータリー財団が

1億1900万米ドルの募金に成功

2006年:ポリオ常在国の数が4カ国

(アフガニスタン、インド、

ナイジェリア、パキスタン)となった







国際ロータリーのポリオ根絶活動の軌跡(4)

• 2009年:ビル&メリンダ・ゲイツ財団が、ロータリーに対して

「2億ドルのチャレンジ補助金」として 3億5500万米ドルの資金提供を約束

・2014年:インドを含む東南アジア地域(世界人口の4分の1)で野生型ポリオウイルスによる新たな症例数が3年連続でゼロとなり、同地域のポリオ根絶を宣言



「経口の生ワクチン」と「注射の不活化ワクチン」



	経口生ワクチン	不活化注射ワクチン
開発者	セービン(Sabin)	ソーク (Salk)
值段	安い(65~113円)	高い(5,000円程度)
接種回数	2回	4回~5回
接種技術	素人でも可能	医療技術者
免疫力獲得	獲得しやすい	獲得しにくい
ワクチン由来の感染	あり	なし
使用すべき状況	大規模流行~小規模流行	散発期~終息期



2022年に生まれた日本の子ども約80万人に4回接種をすると160億円余りのワクチン代が必要

ポリオのワクチンの値段(日本の場合)



不活化ポリオワクチン:5450円

四種混合ワクチン:6600円(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)

三種混合ワクチン:1581円(ジフテリア・百日咳・破傷風)

2022年に生まれた約80万人の日本の子どもに4回接種

差額5019円×4回×80万人×0.95≒152億5千万円

10年遅れると日本国内だけでも1,525億円以上の損失法律は国の法律だが費用は各市区町村の会計から支出





2019年6月28、29日のG20宣言(大阪)

「我々はポリオ根絶とエイズ、結核、マラリアの流行を終わらせるという我々のコミットメントを再確認し、・・・・」

2026年にポリオが根絶できるように行動!

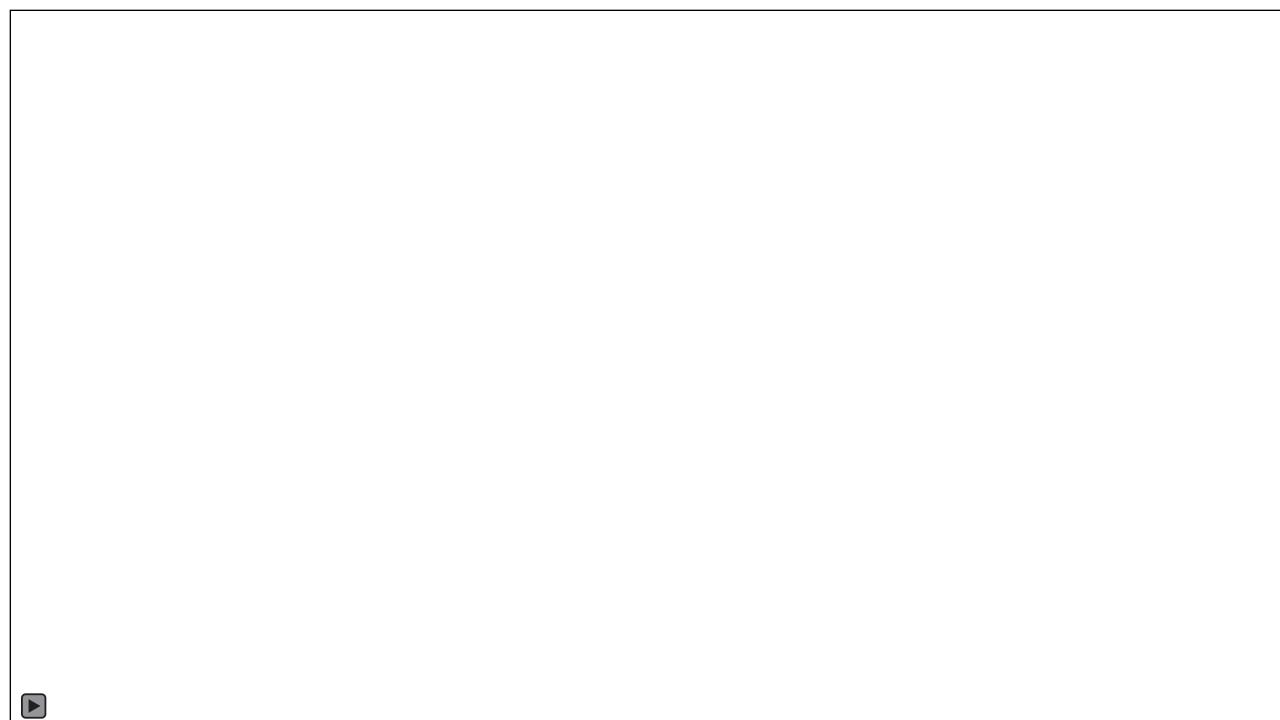




国際ロータリーのポリオ根絶活動の軌跡(5)

- ・2019年新型コロナウイルス感染症が・・・
- 2020年:ナイジェリアのポリオ根絶が宣言され、 **常在国はアフガニスタン、パキスタンの2か国のみ**
- ・当初2000年の根絶達成は2005年に、さらに遅れて現在は2023-2026年の行動計画で進行中
- あとチョット、もうチョット詐欺じゃない?







ポリオ根絶戦略2022-26 (GPEI) (JUNE.2021) その1

1.政治的アドボカシー: 政府と協力して、発症者が出た場合に迅速かつ効果的に対応するために一層の緊急性と責任意識を生み出す。国や州・地方レベルの人びととの関係と信頼を築き、ポリオ根絶プログラムの利点についてより深い理解を生み出す。アフガニスタンの一部地域における戸別訪問の予防接種への禁止に対処する方法を模索する。





ポリオ根絶戦略2022-26(GPEI) (JUNE.2021) その2

2.コミュニティ・エンゲージメント: ポリオによる影響を多く 受けている、感染リスクの高いコミュニティ(アフガニスタン とパキスタンにおけるパシュトー語を話すコミュニティなど) との意義あるパートナーシップを築く。ポリオ根絶キャンペー ンの計画立案にコミュニティのメンバーが貢献できる場合には、 委員会を設置してほかの保健ニーズについて伝える。パシュ トー語を話すインフルエンサー(助産師や女性団体など)と協 力して、より幅広い育児の慣習にとってポリオワクチンが大切 であることへの理解を築く。





ポリオ根絶戦略2022-26(GPEI) (JUNE.2021) その3

3.運営の改善: 前線の活動従事者となることのできる地元出身(地元の言語を話す)の女性を募り、研修することで、キャンペーンを強化する。前線の従事者たちの必需品と安全を確保し、能力開発の機会を与える。デジタルマッピングや活動従事者へのモバイル決済といった技術的イノベーションを採用する。最近承認された新型経口ポリオワクチン2型(nOPV2)を使用して症例の発生に対応する。





。ポリオ根絶戦略2022-26 (GPEI) (JUNE.2021) その4

4.保健プログラムへのポリオの組み入れ:アフガニスタンとパキスタンにおいて「投与ゼロ」の子どもに全ワクチンを投与する。新型コロナワクチンの接種開始をサポートすること。ポリオワクチンを、地域社会とのパートナーシップによって立ち上げた幅広い保健と基本サービスのパッケージの一部とする。新生児への経口ポリオワクチン投与において医療機関をサポートする。





。 ポリオ根絶戦略2022-26 (GPEI) (JUNE.2021) ₹05

5.サーベイランスの改善: ポリオ発生への対応をスピードアップするため、まひを発症した子どものポリオウイルス検査結果を一早く得るための技術的イノベーションを駆使する。ポリオのサーベイランスを、ワクチンで予防可能なほかの疾病(はしか、新型コロナウイルスなど)のサーベイランスシステムに統合する。





ポリオの根絶宣言

3年間の野生株でのポリオの発症0が証明され、WHO(世界保健機関)根絶宣言をして 世界中でポリオの予防接種が終了する

1979年から43年、GPEI成立から34年まだ根絶できないポリオ

本当に根絶できるのか?



根絶可能な感染症の条件

*人以外の動物に感染しない

(インフルエンザは鳥や豚にも感染する)

(コロナはラクダやコウモリにも感染する)

*有効性の高いワクチンが存在する

(インフルエンザは40~60%の有効率)

(コロナ【mRNAワクチン】は?の有効率)

(はしか(麻疹)ワクチンは95%の有効率)

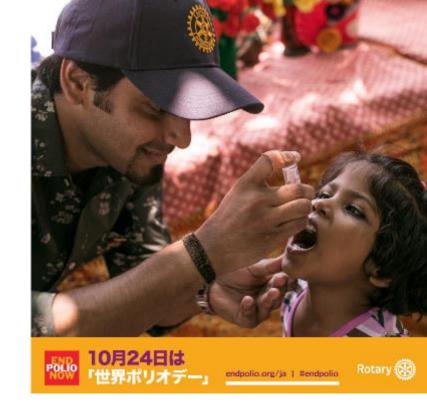
*不顕性感染が少ない

(ポリオは不顕性感染が多い)

(はしか(麻疹)や天然痘は不顕性感染が少ない)

科学的に根絶可能なウイルス性疾患は 天然痘、ポリオ、はしか(麻疹)といわれている。









ポリオ根絶のための基礎知識

- *ポリオは人間だけが感染するウイルスによる疾患
- *常在国は2カ国だがワクチン投与は撲滅が確認されるまで世界中で継続される
- *最後の患者が発生して3年間新たな発症がなければ世界保健機関(WHO)から根絶と認定される
- *現在は安価な生ワクチンを使用しているが、最終的には高価な不活化ワクチンを使うようになる



- アドボカシー活動
- クラブの奉仕活動での広報
- 発信しよう(SNSの活用)
- 募金箱の設置

・募金や寄付

直接依頼されたことのない人が意外と多い 頼まれると断れないのが人情





松本 祐二

1982年から島根県益田市の松本医院の院 長をしています。江戸時代から続く医家の 8代目の医師です。国際ロータリーではポ リオの根絶活動にも取り組んでいます。





